

# しみずの教育

## ちょっといい話

【平成28年9月号】

清水小学校

校長 山下 勇

### 子どもたちの力作ぞろい・夏休みの作品展

さすが高学年の子どもたちの作品

夏休み期間に、子どもたちが時間をかけて取り組んだ夏休みの作品づくり。紙粘土や紙、ステンドグラス、フォトスタンド、豆アート、フェルトなどの工作、本棚やいす、ハンガー、ラック、ケースなどの木工、クッションや壁かけ、ぬいぐるみなどの手芸、観察記録や「〇〇調べ」「□□の作り方」、そめもの、絵日記、歴史年表などの自由研究、習字や絵画など、子どもたちのアイデアや頑張り、丁寧



よくまとめられている自由研究

さや根気強さが伝わってくる作品ばかりでした。また、子どもへのアドバイスや協力をいただいた家族の力も大きかったものと思います。今回は、台風による臨時休業で「校内作品展」の期間が短くなり、多くの保護者や地域の皆様に観ていただけなかったのが残念です。



### 修学旅行での子どもたちの態度と行動

#### ・・・約束を守って、楽しく

先日、6年生の大きな行事である「修学旅行」が無事終了しました。事前に計画・準備された自主研修や施設見学・体験学習を実施し、色々なことを観たり、体験したりすることができ、充実した学習をすることができました。この後、修学旅行で学習した成果をまとめ、参観日（9/16）で発表する予定です。

修学旅行期間中の子どもたちは、移動中のバスや見学・体験した施設、宿泊のホテルではしっかりと約束を守り、礼儀正しく、感謝の気持ちをもった態度と行動を取っていました。



小樽水族館でのバックヤードツアー体験

また、今回は台風の影響により日程が一日延びましたが、動揺したり浮かれたりすることなく、いつも通りの態度と行動を取っていました。どのような状況にあっても、「当たり前前のことを当たり前にする」ことができる力が身に付いている子どもたち。清水町の教育（しみず「教育の四季」）による成果だと思えます。



職人義塾大学校でのもの  
づくり体験～扇子づくり

## 表札を寄付していただきました

1学期、2年生の子どもたちが、生活科「まちたんけん」で、[(株)いとう]さんを訪問した折、仕事の内容を教えてくださいました。見本として製作した「表札」(石材)を寄付していただきましたので、校長室に飾らせていただいております。



## 御影小学校



台風10号の影響により被害に見舞われた皆様へ  
心からお見舞い申し上げます

## Welcome エリック・コルチャック・アーネスト先生



2学期から英語助手が、エリック・コルチャック・アーネスト先生になりました。初日の授業から子どもたちは夢中になって学習していました。ビンゴゲーム・ジャンケンゲーム等とても盛り上がっていました。1年生もとても反応がいいのには驚きました。

# 6年生 修学旅行 in 札幌！！

2学期早々の8月24日（水）、25日（木）、6年生は、札幌方面に修学旅行に行ってきました。晴天に恵まれ、活動内容等とても充実した思い出に残る2日間になりました。笑顔で挨拶、お礼、マナーを守るなど、どの行動もさすがしく立派だったそうです。また、見学先やホテルなどで、接客していただいた方々から多くの褒め言葉をいただき嬉しい限りです。ホテルを出る時の退館式では、感謝の気持ちをパフォーマンスで表し、ホテルの方に大変喜んでいただいたそうです。そのパフォーマンスの陰には、もちろん準備指導した先生方の力が見えてきます。これから2学期の本番です。この経験を生かし、感謝の気持ちを忘れず、仲間を大切に頑張っ



（教頭 川崎 広輝）

## 清水中学校

### 清水に台風

8月30日（火）の夜に台風10号がきた。私は台風が来るのはわかっていたけど大した事はないと思い込んでいた。

でも、8月31日（水）の朝の3時ごろ、大きいサイレンが鳴った。私は寝ていて気がつかなかったけど、お母さんやお姉ちゃんは気づいたそう。お父さんは、大きいサイレンが鳴る前に、役場に呼び出されて、いまま帰ってきていない。

私は朝起きると、「ゴゴゴゴ・・・」と外が鳴っていた。

私の家の近くの道路が川のようにになっていた。

清水は「水がきれい」というイメージだったが、茶色く濁った汚い水だった。

「夢かな？」と思うことが何回もあった。

テレビでも、清水町が取り上げられていたり、家が流されたり、橋が壊れたり、水が出なかったり。特にビックリしたことは、同級生で、幼なじみである子の家が傾いて、今にも流されそうなこと。

水が出なくてあーだこーだ言っている私たち。

でも、私たちよりも辛い思いをしている人がいる。  
そう考えるといろいろなことを言っていた私たちが情けなくて恥ずかしい。  
役場の人も1秒でもはやく、清水を元に戻そうと頑張っている。

そんな姿を見ているうちに、「私たちにも出来ることはないのかな。」と思うようになり、  
中学2年生でボランティア活動をしようということになった。

泥の片づけ、ゴミ拾い、水を運ぶ手伝いなど・・・。

私たち2年生は、3日間ボランティア活動をしました。

ボランティア活動をすると、町の人から「ありがとう」と笑  
ってもらえて、とても嬉しかった。

町の人などの笑顔だけで、こんなにも幸せだと思うことは一  
度もなかった。

私は正直「台風来ないかな～」なんて思ったことがある。  
こんな事を思っていた自分に怒りが襲ってくる。  
そして、この台風で気づいたことがある。それは、

○台風の怖さ ○水の大切さ ○中2の団結力と絆  
○清水の豊かさ

このことに気づかせてくれたことは感謝したいです。  
でも、このような台風は来ないでほしいです。また、台  
風12号が来るかもしれないので、来ないことを本当に願  
いたいです。そして、まだ元の清水に戻っていないので、  
1秒でも早く元に戻るように、私たちにも出来ることをし  
ていきたいです。

今後の清水町のために・・・。



「2年A組学級通信」より  
(教頭 伊澤理紀)

## ■「みらい君の広場」で活躍中

御影中学校は、新聞教育に熱心な先生方が多い学校です。国語科でも、積極的に新聞を活用した取組を行っています。中でも注目したいのは、北海道新聞の「みらい君の広場」にテーマに応じて

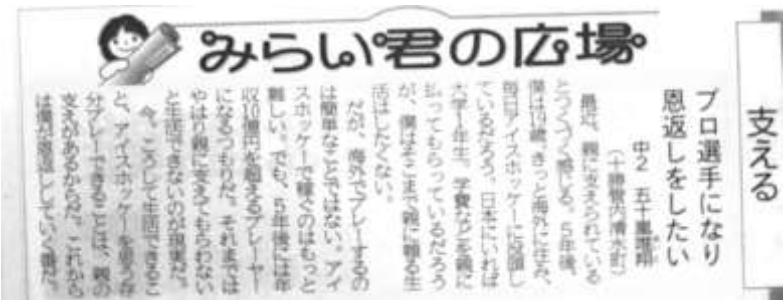


書いた文を応募し、これまでに4人の生徒が掲載されていることです。今のところ、1年生の活躍が

光ります。みんな、自分の思いや考えをしっかりと述べている秀作です。今回は掲載作品を紹介させていただきます。



1学期の掲載は3件。1年生上谷さんは、熊本地震の報道から、好き嫌いの多い自分の食に対する考え方を見直しました。田中さんは、熊本地震で被災した祖父母を励ます「子供新聞」をファックスで送り、祖父母を応援し続けていることを書きました。2年生五十嵐さんは、自分を支えてくれる親への感謝の思いと、未来への強い決意を述べています。



2学期トップバッターは1年生山本さん。すばらしい図書館司書の先生との出会いから、自分も図書館司書の道を目指したい、生徒からあこがれを抱いてもらえるような先生になりたい、という思いを述べています。

いずれの作品も、自分の思いや考えがしっかり述べられ、彼等の今後を心から応援したくなるものばかりです。

掲載には至らなかったものの、授業で取り組んだ作品の中には他にも素晴らしいものがまだまだあります。今後は誰の作品が取り上げられるか、とても楽しみです。楽しみと言えば、実は掲載されると道新からプレゼントが届きます。これを励みにしている生徒も多いとか。昨年までの掲載記録は、最高8件だそう

です。楽しみと言えば、実は掲載されると道新からプレゼントが届きます。これを励みにしている生徒も多いとか。昨年までの掲載記録は、最高8件だそう

ですが、今年はこの数字を超えられるか？たいへん楽しみです。さて、5人目は誰かな。

(教頭 宗形真恵)

## 清水高等学校

校長 西嶋潤一

# 町も生徒も、すごい力！～ 台風10号襲来から1週間

今回は台風の話をしなわけにはいきません。

被災された皆さまには、心からのお見舞いを申し上げます。

8月30日(火)の夜遅くから31日(水)朝にかけ、猛烈な雨と風にさらされました。30日の日中から、ペケレベツ川の水かさが今まで見たことがない！と、清水をよく知る先生から報告があったものの、そんな大変な災害は全く想像できませんでした。

30日の夜、緊急のメールが入っていたのが静かになって、いつの間にか携帯に「圏外」の文字、寝ぼけながら見ているうちに4時前に固定電話が鳴って、学校で火災報知器が感知し、消防が行っているが学校に入れず、との連絡。あわてて飛び起き消防に対応、雨漏りによる誤発報と判明し、帰っていただきましたが、その時点でもまだ、大変なことが起きている認識はさほどありませんでした。消防の方には、大災害のさなかにご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

少し明るくなり始めた4時半頃、町の状況を確認するために車を走らせ、総合体育館方向、川に向かったのですが、道路にドラム缶や流木がころがり、一部の道路には水が溢れるという状況でしたので、断念し、国道に向かいました。陸橋を越え38号線を帯広側に向かうと、対向車がライトをつけて止まっていて、道路には水が流れていました。20センチくらいだから行けると判断し、農協のスタンドまで行き、今度は同じように水が流れている道路を町の中を歩いて引き返しました。あとで、川に向かう道も国道も、もう少し行くと橋が落ちていたのがわかり、自分の行動を反省しています。

5時頃、教頭先生に連絡し、臨時休校の措置を指示、連絡網をまわしました。帯広から通勤の先生方も、回り道をしながら無事出勤し、一日が始まりました。

31日から始まる予定だった1年次の宿泊研修は、2日間への短縮も考えましたが、電話の不通等もあり、宿泊をやめて9月2日(金)のみ実施、同じく2年次のインターンシップは、受け入れ可能な帯広方面の事業所を中心に1日(木)、2日(金)の2日間だけ実施させていただきました。

3年次生の臨休も31日と1日のみで、9月2日から断水の中、学校を再開しました。7日(水)からはJRの代行バスが運行し、交通手段で登校できない生徒はいなくなりました。

いくつかの驚きがあります。

委託業務とは言え、あの31日も含めゴミの収集がきちんと行われていること。31日朝、他の場所が大変になっているのに消防に出動していただいたことに始まり、役場の明かりが

途切れることなく、目に見えて町の中が片付き、町内の道路状況が半日単位で改善されていくこと。役場、建築・土木・水道関係等々、様々な人たちにフル稼働で仕事を続けていただいています。スクールバスに対する十勝バスの素早い対応、1週間もたたないうちに代行バス運行を決定していただいたJR北海道、町教委による水供給の決定で、節水を続けながらも何とか学校が動きます。

様々な地域の方に支えられて、学校教育が行われています。

生徒も負けてはいません。

宿泊研修の最終日のメニューには教員と生徒で考えて、町内の給水所で水運びのお手伝いを入れました。その話が伝わったのかどうかはわかりませんが、芽室から清水に来られない1年次生の男子4人が、自主的に、芽室の福井旅館さんに行って、何か手伝うことが無いかを申し出て、1日、泥のかき出し作業をしてくれたとお礼の電話もいただきました。土、日曜日もアイスホッケー部をはじめとしてボランティア活動が行われています。清水中学校の生徒も大活躍しています。

9月3日（土）、4日（日）には帯広の十勝マルシェにも出店し、お客様から「よく出店したね」と、激励をいただきました。今後、売上の一部は災害に対する寄付にまわします。授業を大切にしながら、農業、福祉の授業を中心にお手伝いできることを考え、被災した住宅、避難所に出かけています。

自分がやるべきことをきちんと行い、地域に対して何ができるかを考える。先生の指示が無くても、最優先で安全かどうかを自分で見極めて。生徒は沢山のことを学んでいます。

今年も9月16日（金）から高卒就職試験が一斉に始まります。そのための書類の仕上げの時期も大変な状況下で行いました。苦労したからこそ良い結果につながる、そう信じています。

## 清水幼稚園

園長 福原幸江

### げんきに登園しました！！

台風の被害により8月31日（水）から臨時休園していましたが、避難勧告等の解除、関係機関の皆様のお蔭による水の確保などにより、9月6日（火）から開園しました。避難所に数日いた子、夜中に濁流を見ながら避難した子など、心のケアの必要などありますが、子どもたちが元気に登園してくれてホッとしました。

通常の生活に戻るにはもう少し時間が必要ですが、皆様のお蔭で第一歩前に進めたことを感謝申し上げます。





玄関先の給水タンク

## おばけ屋敷・・・協力して作りました！！

今年も“ばら組”で「おばけ屋敷」を作りました。

ねらい) ①共通の目的に向かい、話し合ったり役割を分担したりしながら、一緒に遊びを進めることを楽しむ。

②自分たちで計画したおばけ屋敷に小さい友達を招待して交流を深める。

怖がらせない工夫も、みんなで話し合っ  
て臨みました。「また入りたい」という小さな子供たちにちょっと得意げな年長さんでした…。が、最終日のばら組へのおばけからの招待状には「え〜!?」「いやだー!!」と大きな声が上がりました。恐る恐るでしたが入り口に向かいました…出てきた姿は得意げでした。昨年より心も体も大きく成長しています。



### 第一保育所

## バス遠足 in 動物園

8月25日(木)、子どもたちが待ちに待ったバス遠足でした。3～5歳児のお友だちがバスに乗って、動物園へ行って来ました。バスの中では、動物クイズをしたり、動物園のうたを歌ったりと、とても賑やか～♪動物園に期待を膨らませていました。

動物園に着いてからは、飼育員さんのご厚意により、フクロウを間近で見たり、リスざるの食事の様子を見たりと、子どもたちは大興奮でした。初めてバス遠足に行った年少(3歳児)さんもいろいろな動物を見つけて大喜び！

乗り物にも乗ることが出来、列車に乗った時には、待っている保育士に満面の笑顔で「札幌に行ってくるね〜！」と手を振ってくれた子どもたちでした。

帰りは雨が降り始めたので、早めに出発しましたが、子どもたちは「楽しかったね〜！」と、友だちと一緒に動物園を満喫できた様子でした。保育所に戻ってからは、お留守番していた小さい友だちや保育士に「動物園でね…！」と、沢山お土産話をして、興奮冷めやらぬ子どもたちでした。





(保育士 山崎理加)

## 夏ならではの…！

今年は例年より暑い日が少なかったのですが、気温が上がった日には、水あそびを楽しみました。朝、保育士が水あそびの用意をしている姿を見つけると「やったー！今日は水あそびだ♪」と大喜び！着替えも早い早い！

今年は色水あそびが大人気でした。桶にはいろいろな色…色と色を混ぜて子どもたちの実験が始まります。「赤と白を混ぜたら、いちごミルクになった！」「メロンジュースになった！（青+黄色）」…その後、出来上がったジュースは友だち同士で「どうぞ♪」とおすそ分けをしていました。

未満児(0～2歳児)のお友だちも、初めはドキドキしながら触っていましたが、慣れると触り方も大胆に…！顔に水がかかっても平気になり、とても楽しんでいました。みんなで短い夏を満喫することができました！



(保育士 阪口知世乃)

### 第二保育所

## 今年の野菜たちと 台風にも負けなかった…あお虫くん

春にまいた野菜の種…今年は雨が続き野菜の成長が心配でしたが、「先生！！きゅうりが大きくなっているよ」「トマトが赤くなっている！！」「ピーマン採ろう」「枝豆が美味しそうだね」という子どもたちの声で、収穫開始！収穫した野菜たちは、給食の食材として食べ、採りたてのミニトマトは、洗ってモグモグ食べました。トマト嫌いなお友だちが笑顔で食べる姿に、先生たちもほっこり嬉しくなりました。





人参畑に、2匹のあお虫くんが、台風10号にも負けず元気に人参の葉を食べていました。(あお虫くんの存在は保育所のお母さんが教えてくれました)  
うさぎぐみのお友だちと先生で保護して、今は虫かごの中ですくすくと育ち、成長を観察中です。





### 噴水あそびで おむつもパンパン

シリシリと暑い中、保育所で一番小さいクラスのひよこぐみが、中央公園へお散歩に行き、噴水で大暴れしてきました。噴水からあがるとオムツはパンパンに膨れて大爆笑(^◇^)でした。

### お弁当 ありがとう

台風10号により断水が続く中、給食が作れず、お弁当の毎日！  
お仕事と水汲みで忙しい中のお弁当作りに、お母さん！本当にありがとうございます。子どもたちは大喜びです。

(保育士 中 口 輝 美      保育士 小 林 可奈恵)

## 御影保育所

### 楽しかったね！スイカわり♪♪♪

御影保育所の年長さんが育てている畑に、スイカがなりました。

大きさは10cm弱・・・ちょうどまごとのスイカと同じ大きさ(笑)！若干小さいのですが、皆を代表して年長のひまわり組がスイカわりをしました。

小さいお友達も見守る中、目隠しをして新聞の棒っこを持ち、いざ小玉スイカへ！！「まっすぐ行け～」「もう少し右！右！」「ちがう！後ろだよ！」たくさんの声援を聞きながら奮闘したひまわりさん。3～4人、たたくことができたようです(^。^)



さて、お味は・・・白くて、まるでキュウリのような味だったそうです（笑）！！

## ☆☆短い夏のおたのしみ☆☆

今年の夏は、暑い日がありませんでしたね。「今日は暑いな！」と思ったら、朝から急いで桶に水を入れ、水遊びの準備をします。“どろんこシャツ・どろんこパンツ”なるものを着用し、皆で外へGO！！太陽で温められた水は気持ちよく、子ども達は水鉄砲やままごと道具などを使い、思い思いに水遊びを楽しみます。友達や先生と、水のかげやっこをして大はしゃぎしている子もいます。



御影保育所の近くには噴水公園もあり、そこで遊ぶこともあります。噴水が大きくなると、下をくぐったり滝にうたれたりして修行ごっこ(?)を楽しむ子も！大好きな水遊びを身体いっぱい楽しみ、今年も短い夏が終わりました。

そして、秋を連れてくる台風は、今年は清水町に多大な被害をもたらしました。水は楽しいだけでなく“こわいもの”でもあることを誰もが実感した夏でした。

(保育士 田村 暁子)

### 教育委員会

新しく清水町に着任した2人のAETを紹介します。

#### ○ エリック・コルチャック

- 出身地： カナダ
- 生 年： 1988年
- 趣 味： プラモデル作成(ガンブラ)
- 好きなスポーツ： スキー
- 好きな食べ物： イタリア料理、ラーメン、リンゴ、カレーライス
- 清水町の印象： コンパクトでやさしい町。
- 子どもたちの印象： 元気で明るくていい子。
- 抱 負： どんどん一緒に英語を楽しみましょう。



#### ○ マライア・シュワルツ

- 出身地： アメリカ ミシガン州 レイクビュー
- 生 年： 1993年
- 趣 味： バスケットボール、ジョギング、ビットボックス、読書
- 好きなスポーツ： バスケットボール、円盤投げ
- 好きな食べ物： お好み焼き、たこ焼き、寿司
- 清水町の印象： 清水町は私の故郷ミシガンを思い出させます。皆



さん歓迎してくれますし、とても親しみやすいです。皆さんとお会いし、友達になることを楽しみにしています。

□子どもたちの印象：子どもたちは皆、とてもエネルギーで親しみやすいです。英語を勉強しているときに彼らは熱心に取り組んでくれることが嬉しいです。

□抱負：皆さんが、英語が上達するように手助けをしたいと思います。そして、私も日本語が上手になりたいです。ベストを尽くします。私は帯広フードバレー-halfマラソンを走ります。皆さんも一緒に走りましょう。



## みず教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から  
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

**秋～心を染める色の中で 感性みずみずしく**

**家庭・地域**  
**今月の取組**  
**うちの子 よその子**  
**隔てなく**  
**しっかり受け止め**  
**励まそう**